２０１９年度　　早稲田大学大学院文学研究科　　入学試験問題

【修士課程】　　**専門科目**　　教育学　コース　　※解答は別紙（縦・横書）

【問題Ａ】次の５題から１題を選んで、１５００字以内で答えなさい。（答案の冒頭に、選んだ問題の番号を明記すること）

1 次の文章は2018年3月8日に公表された中央教育審議会「第3期教育振興基本計画について」答申の一節である。この文章の内容を踏まえつつ、(1)「多様な学生」とはどのような学生なのかについて説明し、(2)「質の保証のための各大学の取組」とはどのようなものであるべきか、現状も踏まえつつ論じなさい。なお解答にあたって(1)(2)という番号を記入する必要はない。

「少子化が進む中においても、いわゆる18歳時進学率の上昇により、大学の学士課程の学生数は増加している。学士課程への進学率は5割を超え、専門学校等を含む高等教育機関全体への進学率は8割を超えるなど、進学率が上昇し、多様な学生が入学するようになっている。（中略）大学生の学修時間が短いなどの課題も踏まえ、大学教育の質の保証のための各大学の取組を進める必要がある。」

2 男女が平等で豊かに生きられる社会の実現のために、教育が重要な役割を果たすことは国際的にも認知されている。しかし、いまだに格差や固定的な役割分業意識のために、十分な教育機会に恵まれず、十全な成長発達を阻害されている状況がある。ジェンダー平等や豊かな暮らしと学びの実現のため、障壁や課題、改善のためにとるべき方策等について、社会教育と学校教育、都市と農村、幼児、青年、成人等領域や対象を具体的に示して述べなさい。

3 2011年3月に起きた東日本大震災と原発災害は、学校教育のあり方に、どのような課題、論点等を投げかけてきているか、考えるところを述べなさい。

4 プラトン『国家』における洞窟の比喩と金属の比喩について、プラトンの教育に対するスタンスと関連づけて説明しなさい。

5 多様な文化的背景をもつ学習者が増える中、文化を扱う教育の課題や方策について、国際理解教育的視点から論じなさい。

【問題Ｂ】以下の教育用語の中から４項目を選び、それぞれについて４００字以内で解説しなさい。（所定の解答用紙には、選んだ問題の番号を明記すること）

（１）夜間中学
（２）地域高校
（３）専門職（短期）大学
（４）人間の新生児に関する生理的早産説
（５）八大教育主張
（６）社会教育主事
（７）ソーシャル・キャピタル(social capital)
（８）『学習：秘められた宝（Learning: Treasure with in)』(1996)
（９）学校関係者評価
（１０）Johann Heinrich Pestalozzi (1746～1827)
（１１）三歳児神話

（以下余白）

受験番号	
氏名	

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

教育学

総　点

問題A

―――ここから記入すること―――

（裏へ続く）

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———

（次頁へ続く）

———ここから記入すること———

1500字

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———

受験番号	
氏名	

この欄以外に受験番号氏名を書かないこと。

教育学

総　点

問題B

―――ここから記入すること―――

400字

(裏へ続く)

400字

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———

（次頁へ続く）

———ここから記入すること———

400字

（裏へ続く）

400字

———これより先の余白には絶対に記入しないこと———